

みたか子どもサミット

～三鷹子ども憲章をつくるための子どもミーティング（第2回）～<要旨>

日 時 平成19年6月13日（水）午後3時15分～5時
場 所 三鷹市役所 市長公室
出席者 市立小学校（7校）代表者 計14人
清原市長、貝ノ瀬教育長
（司会 伊藤企画経営室長）

<議事要旨> この会議録は抄録であり、すべての発言が掲載されているものではありません

【司会】 皆さん、こんにちは。

（一同、「こんにちは」）

きょうは、皆さん、貴重な放課後の時間に、「子どもサミット」に参加していただき、ありがとうございます。それでは早速、貝ノ瀬教育長からごあいさつをお願いします。

【貝ノ瀬教育長】 皆さん、こんにちは。教育長の貝ノ瀬滋です。よろしくお願いします。私は、教育長になる前までは第四小学校で校長先生をしていました。また、市長さんも大学の先生でした。2人とも学校の先生でしたので、学校にいるようなつもりで気楽にお話をしてください。

まずは、皆さん、市役所によろこそおいでくださいました。私たち、清原市長さん、それから教育委員会も、皆さん方の学校生活、そして、皆さんの教育をよくしようと一生懸命頑張っています。さらにこれから、皆さんの教育をもっとよくするためのよりどころとなる「子ども憲章」をつくろうとしてますが、私たちだけでつくってしまうのでは、十分ではありませんので、学校の代表の皆さんに直接お話を聞きながら、すごくいいものをつくっていきたいと思っています。

皆さん方は、学校で話し合いをしてきてもらったと思いますけれども、時間がなくて話し合いが十分じゃないところがあっても結構です。そのことを紹介しながら、ご自分の意見も言ってくださると、もっといいですね。ぜひ自分のふだん感じていることもつけ加えてお話をしてください。気楽をお願いします。

きょうは、自分たちが成長していく上で、大人の私たちに大切にしてほしいと思うこと、そして、自分たちが大切にしなければならないなというものを出示してもらいたいと思います。限られた時間ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

【司会】 それでは、ミーティングに入る前に、1人ずつ自己紹介をお願いします。

【Nさん】 市立〇小学校のNです。よろしくお願いします。

【Mさん】 市立〇小学校のMです。よろしくお願いします。

【Lさん】 市立〇小学校のLです。よろしくお願いします。

【Kさん】 市立〇小学校のKです。よろしくお願いします。

【Jさん】 市立〇小学校のJです。よろしくお願いします。

【Iさん】 市立〇小学校のIです。よろしくお願いします。

【Hさん】 市立〇小学校のHです。よろしくお願いします。

【Gさん】 市立〇小学校のGです。よろしくお願いします。

【Fさん】 市立〇小学校のFです。よろしくお願いします。

【Eさん】 市立〇小学校のEです。よろしくお願いします。

【Dさん】 市立〇小学校のDです。よろしくお願いします。

【Cさん】 市立〇小学校のCです。よろしくお願いします。

【Bさん】 市立〇小学校のBです。よろしくお願いします。

【Aさん】 市立〇小学校のAです。よろしくお願いします。

【司会】 では、ここからは進行を清原市長にバトンタッチします。

【清原市長】 皆さん、改めまして、こんにちは。

きょうはようこそ「みたか子どもサミット」に参加をしてくださいました。これからは、私が進行させていただきますので、よろしくお願いします。

それでは、先ほど教育長がお話をしてくださいましたように、私たちは、子どもの皆さんの考えていることを大いに参考にし、それをむしろ積極的に生かしながら、「三鷹子ども憲章」をまとめようとしています。

きょうは、前半は、「自分たちが成長していくうえで、大人に大切にしたいこと」について話し合いをします。後半は、「自分たちが大切にしなければならないこと」について話し合いを進めます。この2つのテーマの間には短い休憩を挟みます。

まず、「自分たちが成長していくうえで、大人に大切にしたいこと」について、全員から、その内容について、お話をしてもらいます。その後で、それぞれ出された内容について、少しやりとりをさせてもらいたいと思います。

それでは、Nさんからお願いします。

【Nさん】 私たちのクラスでは、いじめについての意見がよく出てきたので、いじめに関係あることで大人に大切にしたいものを話したいと思います。

子どもの言うことを信じてほしいということと、給食費を払わなかったりして、そのことが子どもにばれてしまって、いじめにつながるということが時々、ニュースでやっていたりするので、そういうことをよく確認して注意してほしいと思います。

それと、親同士の関係を子どもに持ち込まないでほしい、近所づき合いを大切にしてほしい、日々子どもとコミュニケーションをとるようにしてほしい、子どもがふだんと様子が違ったら、子どもは話せないということもあると思うので、学校の先生や子どもの友達に聞くなどして、早目に対処してほしいということが出てきました。

【清原市長】 それでは、Mさん、お願いします。

【Mさん】 私は、子どもとしっかり話すような時間を家庭でもとってほしいということが一番、大人に大切してほしいと思っています。

【清原市長】 では、Lさん、お願いします。

【Lさん】 うちのクラスでは4つぐらいの項目が出て、まず、つくってほしい、増やしてほしいもので、犬が散歩できる公園や、ボールを打ったり、蹴ったりできる公園がほしいという意見が出ました。また、自転車が通る道を広くしてほしい、学校の楽器を増やしてほしい、道路を明るくしてほしい、暗い道や事故の多いところに交番をつくってほしい、学校対抗のスポーツイベントを開いてほしいという意見が出ました。

もう1つ、市の中で気になることには、歩きたばこなど多いというのがあり、また、スクールゾーンに車が入ってくる、いじめをなくしてほしいという意見がありました。

【清原市長】 では、Kさん、お願いします。

【Kさん】 温暖化対策について、紙をなるべくリサイクルしたものを使う、車の利用を減らし、自転車、電車、徒歩にするよう促す、ポイ捨てをやめさせたり、ごみ拾いボランティアをつくるなど工夫してほしい、自然を増やしてほしい。

次は、大人に対して、子どもにかかわる法律をつくる時、たとえば「選挙権は18歳から」などは必ず子どもに意見を聞いてほしい。大人が子どもに注意するならば、大人もそれは守ってほしい。しかるときは、子どもの言い分も聞いてほしい。

【清原市長】 では、Jさん、お願いします。

【Jさん】 私たちのクラスでは、大きく分けて次の意見が出ました。まず、近くの自然を守る。三鷹市の公害をなくす。道でのマナー。歩きたばこをやめる。交通ルールを守る。まちの標識に英語を入れる。騒音や落書きをなくす。丸池のような公園を守る。子どもを守る。いじめをなくす。安全で楽しい遊び場を増やすという意見が出ました。

【清原市長】 では、Iさん、お願いします。

【Iさん】 僕たち〇小学校6年1組では、意見は大きく分けて4つに分れました。1つ目、環境問題について、2つ目、戦争、争いごとについて、3つ目、犯罪、社会のルール、交通のマナーについて、4つ目、いじめについてです。

「自分たちが成長していくうえで、大人に大切にしたいこと」ですが、1つ目の環境問題については、地球温暖化により海水面が上昇して、多くの人々に害が及ぶのではないかという意見や、海洋汚染は漁業に影響があるのではないかという意見もありました。ほかに、身近な意見として、最近、三鷹に新しくインターチェンジができるという話があり、もしそうになると、公園が削られてしまいます。そうすると、僕たちの遊び場がなくなってしまい、さらに排気ガスにより、空気が汚されてしまうのではないかという意見もありました。

2つ目の戦争、争いごとについては、大人がもっと相手の国のことを考えて行動してほしいという意見や、もっとボランティアに積極的に参加してほしいなどがありました。

3つ目のその他、社会のルールなどについては、大人が交通ルールを破ってしまっている、子どもがまねをしてしまうのでやめてほしいという意見、飲酒運転は絶対にだめだという意識をもっと高めてほしいという意見もありました。ほかに、今の公園は少し規則が厳し過ぎるので、もっと自由な広い公園があってもいいんじゃないかという意見もありました。

4つ目のいじめについては、大人の対応がいいかげんという意見や、もっといじめた側に厳しく注意してほしいという意見がありました。

【清原市長】 それでは、Hさん、お願いします。

【Hさん】 〇小では、ボール遊びができる公園をもっと増やしてほしいという意見がありました。また、今の子どもは夜道を歩くことが多いので、街灯をもっと増やしてほしいという意見が出ました。ほかには、ボール遊びの場、子どもをもっと大切にしてほしいという意見が出ました。子どもをもっと大切にしてほしいということは、いじめられている子どもに気をつけたり、対応をもっと優しくしてほしいということが出ました。

【清原市長】 Gさん、どうぞ。

【Gさん】 〇小学校では、いじめに嫌な思いをしている友達がいないようにしてほしいという意見や、街灯を増やしてほしいという意見が出ました。

【清原市長】 Fさん、どうぞ。

【Fさん】 私たちのクラスでは、大人に考えてほしいことということに注目して話し合いをしました。まず、意見の中で結構多かったのが人の話を最後まで聞いてほしいということと、子どもの相談にちゃんと乗ってほしいという意見が多かったです。そのほかに、私たちの生活にかかわる事件や事故のことをもっと考えて、それに対応してほしい。あと、大人が子どもにちゃんと手本を見せるということ。自分中心に物事を考えないで、周りをよく見てほしいという意見が出ました。

【清原市長】 では、Eさん。

【Eさん】 私たちのクラスでは、1つ目は、たばこのマナー、2つ目は、お酒について、3つ目は、私たち子ども、それから、4つ目が差別について。最後に自然のことが意見として出されました。

たばこのマナーについてですが、私たちのクラスでは、たばこをできる限り制限してほしいという意見が出されました。たばこは迷惑のもとでもあり、病気のもとでもあるという理由だからです。煙は、子どもが吸うとむせてしまい、とても嫌な気持ちにもなります。

2つ目のお酒についてです。去年は飲酒運転により若い子どもが命を失う、とても悲しい事件が起きました。

3つ目の私たち子どものことについてですが、このごろは両親そろって仕事をする家庭が多いです。私のクラスの半分以上がそうです。そして、仕事が忙しくて、御飯をつくれな人も多いです。仕事で、子どもの御飯をつくらずに、インスタント食品やスーパーのお惣菜などを続けると、子どもにはよくありません。ですから、御飯はできる限りつくってほしいと思います。

そして、差別についてです。「女の子だから」、「6年生でしょう」とか、そのようなことはあまり言ってほしくありません。大人はわからないかもしれませんが、子どもからすれば、たった一言でも嫌気のもとになってしまうからです。

最後の自然についてですが、学校の隣に道路をつくるなどの計画を耳にしたことがありました。それから、玉川上水が整備される前に、まつかけ橋の下にコイがたくさんいるのを見ていましたが、工事によって土砂が川に流れて、今までたくさんいたコイがどんどん減って、しまいには1匹もいなくなってしまうました。自然は大切なものなので、工事をしないといけないと言っても、自然を残してほしいなと思いました。

そして、最後に、続けてほしいこと。私たちの口小は夏にキャンプを開いてくれます。秋にはもちつきもあります。5年生のときには、お祭りに参加したり、福引のお手伝いや

駄菓子屋さんを任せてもらったりしました。楽しい思い出をたくさんつくることができました。この楽しい思い出をつくれるように、いつまでも続けてほしいなと思いました。

【清原市長】 では、Dさん、お願いします。

【Dさん】 僕たちの学校の6年1組で出てきた問題で、命の大切さというものが出てきました。子どもがいじめで自殺するということになる前に、大人は子どものちょっとした異常に早く気がついて、ストレスにならないように素早く対処して、カバーしていつてもらえたらいいと思いました。

【清原市長】 では、Cさん、お願いします。

【Cさん】 クラスや学年で出てきたものは、他校との交流を増やしてほしいということや、駅前の放置自転車が多いので、自転車置き場を増やしてほしいということなどです。使えるものは最後まで使いたいという意見も出ました。

【清原市長】 では、Bさん、お願いします。

【Bさん】 委員会で出た意見を1つにまとめました。それは、自分たちの見本になるような行動をしてほしいということです。自分たちの見本にならないような、ルールを守らない行動をしていると、子どもは親の背中を見て育つというように、親がやっていることをやってもいいみたいに信じてしまうことがあると思うから、大人はそういうことを自覚して行動をしてほしいなと思います。

【清原市長】 Aさん、お願いします。

【Aさん】 委員会で出たのは、大人がパチンコをし過ぎるなど、自分勝手に行動しているということです。また、もっと子どもの活躍できる場所があるといいという意見も出ました。さらに、クラスでは、大人には、病気のもとになるたばこをやめてほしいということや、子どもに対して虐待をするなという意見や、ごみの出し方についての意見も多数出ました。

【清原市長】 それぞれの皆さんの話し合いや一人一人の意見から、たくさんの大人に大切にしてほしいことが出てきました。それを一つ一つ、もう少し詳しく聞いてみたいなと思います。

大きく分けると、1つ目には、環境問題、温暖化の問題や、あるいは自然の問題に関することを挙げてくれました。

2つ目には、例えば道路の街灯であるとか、ボール遊びができる公園が必要だとか、あるいは英語での標識、公園、遊び場も含めた公共施設などについての意見も出ました。

3つ目には、歩きたばこをやめてほしいとか、交通ルールを守ってほしいとか、大人にマナーをしっかり守って、犯罪をしない、子どものお手本になるような行動をしてほしいという声がありましたね。

4つ目には、もっと子どもと会話をしてほしい、あるいはちゃんと食事はつくってほしいという子どもに対して具体的にしてほしいことについても意見がありました。子どもに関すること、例えば選挙権が18歳からということについては、ちゃんと子どもの意見も聞いてほしいという声もありました。

そして、大切な皆さんの共通の問題は、いじめであるとか、虐待であるとか、そういうことをなくすように、もっと早く気づいて対応をしてほしいという問題提起がありました。

最後に、まとめて言えることかもしれませんが、命を大切にするために戦争を防ぐ、争いごとを防ぐ、差別をなくす、大人にはそういうふうにしてほしいというような声が出されました。

もう少し詳しく中身を聞いてみますね。環境の問題については、いろいろ意見がありました。自然を守ってほしい。玉川上水のコイがいなくならないようにしてほしいとか、環境を守るためには、あるいは自然を豊かにするためにはこうしてほしい、こういうことを大事にしてほしいという意見がほかにもあると思います。

環境問題、地球温暖化とか、自然について、もう少し考えを言える人はいますか。Cさんどうぞ。

【Cさん】 あまり土地開発などを進め過ぎずに、昔ながらの自然を残してほしいと思いました。

【清原市長】 なるほど。Bさん、どうぞ。

【Bさん】 公園を増やせば、緑がうまく守れると思うので、そういうような公園を大切にしてほしい。

【清原市長】 Fさん。

【Fさん】 子どもが地球環境のニュースを見て、説明をしていても、大人が環境を守るためのことを全くしていないから、そここのところをちゃんと考えてほしいということが出ました。

【清原市長】 なるほど。エネルギーを子どもたちは大切にしているから、大人も環境問題、自然を守ることに、さらに省エネとかをしてほしいということですね。では、Mさん、どうぞ。

【Mさん】 排気ガスとかを少なくするために、なるべく車を使わずに、歩きや自転車を
使うなどして、星がもっと見えるまちにしたいという意見が出ています。

【清原市長】 Lさん、どうぞ。

【Lさん】 密猟などをしたりして、不正に動物たちを輸入したり、ペットにしている
人たちがいます。それで育てられなくなって逃がしてしまうことで生態系が崩されたり、
珍しい動物たちが絶滅してしまったりということがよく聞かれるので、そういうことをや
めてほしいと思います。

【清原市長】 Kさん。

【Kさん】 森を増やすという意見もあるんですけど、一方で鉛筆とかをつくったりす
るために木をどんどん切っています。東八のほうも今、道路が広がっているので、そうい
うところにも、そこに木などを植えたりして緑を増やしてほしいと思います。今、人口が
増えてきたりして、二酸化炭素がどんどんたまっていつているから、二酸化炭素を吸う植
物を植えたほうが良いと思うから、緑を増やしてほしいと思います。

【清原市長】 今、緑を増やすために、公園をもっと守ってほしいとか、道路をつくる
場合にも緑のことを配慮してという意見がありましたね。三鷹市でも、なるべく緑、木を
増やすように、例えば道路一つつくるときにも街路樹を植えたり、あるいは広い道をつく
るときにも、歩道を広くとって、そこに木を植えたりとか、工夫をしていますけれども、
そうしたことをもう少し熱心にしていかなければいけないという提案ですね。

では、次に、大きなテーマで、ボール遊びができる公園が欲しいとか、丸池のような公
園をとか、さらには街灯を明るくしてほしいというような意見がありました。このほかに、
こうしたまちの中でももう少し整備をしてもらったら、子どもたちが安全に安心して暮
らせると思うような提案については何かほかにありますか。Gさん、どうぞ。

【Gさん】 僕は野球をやっているんですけど、練習する公園が少ないので、もうちょ
っと増やしてほしいです。

【清原市長】 野球をできる場所が少ないということね。では、Iさん。

【Iさん】 何も邪魔なものがない広い公園もいいけど、木がたくさんある公園も必要
だと思います。

【清原市長】 Jさん、どうぞ。

【Jさん】 私のクラスでは、安心して伸び伸び遊べる公園をつくってほしいという意
見が出ました。安心して遊べるようにするためには、暗くなったりすると不審者とかが出

て怖いから、電気をつけてほしいということです。

【清原市長】 では、Fさん、どうぞ。

【Fさん】 よく道を歩いていると、ごみが落ちていて引っかけりそうになるから、そういうポイ捨てとかしないで、ちゃんと家まで持ち帰って捨ててほしいと思います。

【清原市長】 それはマナーとかと関係してくるものですね。Dさん。

【Dさん】 歩きたばことか、たばこのポイ捨てとかがなくなるように、喫煙所なんかをつくってもらいたい。

【清原市長】 今、いろいろなまちのことについては、マナーも関係しているというような意見が出てきましたけれども、まだありますか。Aさん。

【Aさん】 僕も野球をやっているんですが、近くにある公園は、ほとんどがボールを投げることすら禁止で、唯一野球ができる場所では囲いが石で、ボールを投げてもすぐどこかへ行ってしまう状態なので、ボールを投げて遊べるような公園を増やしてほしい。

【清原市長】 Mさん、どうぞ。

【Mさん】 私の近くには図書館がないので、図書館とか、あと、子どもが遊べるようなところが欲しいです。近くのコミュニティセンターは、遊ぶという感じより、静かに勉強するという感じなので、もう少し子どもが遊びやすいところを増やしてほしいです。あと坂が結構急なところが多いので、バリアフリーにしたり、車いすの人が不便にならないように、道に自転車を置かなかつたりという工夫をしたいです。

【清原市長】 Lさん、どうぞ。

【Lさん】 私の友達には、ごみ拾いをしたりする友達がいるんですけど、たばこのポイ捨てがすごく多くて、それによって、ごみ拾いをしているときに、服や体が臭くなって困ると言っていました。また、社会の先生が言っていたことなんですけど、道端に火がついたまま捨てられているたばこがたくさんあって、それで火事になったことがあったと聞きました。だから、たばこというのは危ないし、ごみにもなるし、ほかの人に迷惑がかかるから、あまり野外とかで吸わないでほしいと思う。

【清原市長】 今、子どもたちにとっての安心して遊べるスポーツ施設とか、公園とか、図書館とか言ってくれたけれども、同時に、3番目に、先ほど私が言いましたように、どうもたばこの問題は、子どもたちにとっては、大人に吸い方とか、マナーを改めてほしいことの象徴のようですね。そのほか、飲酒、お酒を飲むことについても大分皆さんが話し合ってくれたようです。飲酒運転による事故なども多かったから、そのことから来ている

んですけど、たばこを吸うことやお酒を飲むことのマナーについては、大人がどうも子どもたちのお手本になっていないようなんですけど、ほかに気のついた大人の行動で直してほしいとか、こうあってほしいということはありませんか。では、Cさん。

【Cさん】 学校などで教わっている交通ルールを逆に大人が守っていなかったり、赤信号無視とかは見直してほしいと思います。

【清原市長】 Eさん、どうぞ。

【Eさん】 私は学校で、ごみ拾いをしたりすることがあるんですけど、そのときにもたばこの吸い殻が多いです。あと、捨てる人をたまに見たことがあるんですけど、おじさんとか、怖そうな人だと、どうしても捨てないでくださいと注意できません。

【清原市長】 Bさん、どうぞ。

【Bさん】 犯罪をすること自体がもうルールを既に守っていないと思う。犯罪をするなど言っているのも大人だけど、やっているのも大人だからよくないと思う。そういう犯罪自体をやめさせないと、子どももそれを見ていて、大人になったときにやってしまうから、食いとめないと続いてしまう気がする。

【清原市長】 とにかく犯罪をしないようにということですね。Fさん、どうぞ。

【Fさん】 たばことかを捨てている人を見て、注意しようかなとか思うときもあるけど、それで反発されたりしそうで、嫌だったりします。あと、自転車とバイクがぶつかったところを見てしまったんだけど、そのときに、両方とも、右、左とか曲がり角のところをよく見ないで、そのまま突っ走ってたから、そういうところをちゃんとやらないと、子どももまねしてしまうと思います。

【清原市長】 Hさん、どうですか。

【Hさん】 交通ルールなんですけど、私はこの前、自転車で走っていたら、大人がほんとうは左側通行をしなきゃいけないのに、右側を走っていて、ぶつかりそうになったことがあったので、気をつけてほしいです。

【清原市長】 Nさんはどうですか。

【Nさん】 飲酒運転をやった人は飲酒運転をしていた自覚がないということなので、ちゃんと自覚をしてほしいなと思います。

【清原市長】 今、歩きたばこ、あるいはポイ捨ての問題が出ました。犯罪そのものごとにかくおこさないようにしてほしい。それから、交通ルールを守らない、規則を守らないことによって、飲酒運転による事故など大変危険なことが起こっているの、そういう

のはやめてほしいということですね。このほかのことでもありますか。Lさん。

【Lさん】 私の家の近くで、登校中によく見かけるんですけど、中年のおじさんが道につばを吐いたりとかしています。

【清原市長】 ちなみになんですが、いわゆる不審者というか、何だか様子がおかしい人に話しかけられたり、あるいはされそうになったという経験のある人やその話を聞いたことのある人はいますか。(児童が手を挙げる)直接何か働きかけられた人が6人。そうですか。それではどうやって、Kさんは逃げたのですか。

【Kさん】 塾帰りのときに、前に走っていた自転車の女の子がいきなり、「何で君、そっちに行くの」とか言って向かってきたので、猛スピードで逃げたら、ついてこなかった。

【清原市長】 Mさんは。

【Mさん】 習字を習っていたときなんですけど、そのときに、お金をいきなり見せつけられて、「1,000円上げるから病院の位置を教えて」とか言われて、だけど、「私、最近、こちら辺に引っ越してきたばかりなので」とか、うそをついて逃げた。

【清原市長】 そうですか。こうした中で、次に、皆さんにももう少し詳しく聞きたいのは、保護者の皆さんも含めて、大人の皆さんにももう少し子どもとの会話を多くしてほしいとか、子どもの立場を尊重してほしいとか、そういう意見がたくさん出ましたね。だから、こういう親との会話についても、皆さん意見があるでしょうし、親ではない、学校の先生に対してもこうしてほしいなという思いがあるでしょうし、道で会う大人にも、ほんとうはあまり不用意に会話されたら、かえって怖いのかもしれませんけれども、大人との関係、大人と子どもとの関係の中で、こうしてほしいという意見が随分出ました。

Aさんは、大人の勝手が多い、もっと子どものことを考えて、子どもの活動を尊重してほしいと言っていたんですけど、ほかに大人との会話とか、やりとりでもっとこうしたらいいなと思うようなことはありますか。

【Aさん】 親と話していると、よく途中で切られたりすることがあるので、最後まで聞いてほしい。

【清原市長】 急に仕事のことが入ったり、ほかのことがあると途中になってしまうことがあるのね。

Dさんはどうですか。大人との会話の場合、相手は先生だったり、親だったりするわけですけども、こうしてほしいというようなことはありますか。

【Dさん】 大人はすぐ怒るのをやめてほしい。

【清原市長】 Gさんはどうですか。

【Gさん】 僕も、お母さんとか、お父さんとかに話すとき、時々、忙しいから後とか言っていて聞いてくれないときがあるので、そういうのはやめてほしい。

【清原市長】 Jさんはどうですか。

【Jさん】 結構家ではお母さんと話をするんですけど、ほかの大人とかとはあまり話をしないので、そういう話をするとところとかがあったらいいなと思います。

【清原市長】 お母さんやお父さん以外の大人とも話をしてみたいなど。先ほど、選挙権は18歳からというような話題については子どもの意見を聞いてほしいとKさんが言ってくれたわね。そういうテーマについては、しっかり子どもの意見を聞いてほしいということですけど、皆さんは、今出てきたのはたまたまお父さんやお母さんと話していても、忙しいからと途中で打ち切られることがあると言いましたけれども、大人から、どう考えますかと意見が聞かれることは、Kさん、ありますか。

【Kさん】 たまにあるけど、それも大人に対して子どもが問いかけるのとは違って、大人からだど、逆らったりすると話し合いが続かなかったりして、引き下がるしかないということが多いです。

【清原市長】 そうか。大人に気を遣ってくれているんですね。

Lさんは、どうですか。

【Lさん】 うちの母も父も働いているんですけど、何の仕事をしているのと聞いたりすると、「今、黙っていてよ」とか言ったりしたときがあって、もっと子どものことも考えて仕事とかしてほしいなというのがあります。

【清原市長】 さっきEさんがどうしても今は共働きが多くて、食事をつくっていませんと言ってくれたんですけど、お友達と話をしていて、大人は忙しそうですか。

【Eさん】 私のクラスの大半は、両親ともに働いている人が多くて、忙し過ぎてたまにつくってくれないという意見や、インスタント食品とかについては、学校でディベートをしたときに、添加物が入っているのでよくないという話が出ました。

【清原市長】 Iさんは、大人との会話とか、話し合いについて、何か意見はありますか。

【Iさん】 会話するときといたら、例えばテレビでニュースをやっている、そのニュースについてこうだねとか言い合うとか、それぐらいしかなく、あまり話さないです。

【清原市長】 でも、そういうニュースを見ながら、子どもの意見、親の意見というのが交換されて、それが話題になるということはあるんですね。それはとても大事なことで

すね。社会で起こっていることについては、先ほど犯罪をなくしてほしいとか、いじめをなくそうとか、子どもに対する虐待をなくそうというときに、そういうことがニュースで知らされることが多いですね。それについて、自分たちの意見を親と話し合うとか、あるいは学校でお友達と話し合うとか、そういうことはとても大切なことです。

先ほど多くの方がいじめをなくさなければいけないとはっきり言ってくれました。Hさんも、子どもを大切にしてほしいと最初に言ってくれたんだけど、Hさん、身近でいじめているとか、いじめられているとか、そんなことを見聞きしたり、相談を受けたりしたことはありますか。

【Hさん】 見たことはあります。

【清原市長】 そのときはどういうふうに対応しました？

【Hさん】 別のクラスだったということもあったので、参加もしませんでしたけど、助けたりとかも別にしませんでした。

【清原市長】 しなかった。でも、そのことは確かにいじめの状態だなんて感じ取ったんですね。そのときはどんな気持ちがありました？

【Hさん】 いじめられていた子は、本人がすごく悪いことをしたみたいな感じだったので、いじめるのはすごく悪いことだけど、いじめられている人もどうしていじめられているのかということを考えるのが大切だなと思いました。

【清原市長】 先ほど多くの方が子どもたちの命を大切に、もしいじめが存在したら、きちんと大人に対応してほしいと言ってくれました。どういうふうに大人が対応したらいいと思うかを話してくれる方はどなたかいますか。Fさん。

【Fさん】 お母さんに相談すると、いじめる子とかはその人のことが好きなんだよって言って、それで終わらされちゃうので、そういう一言で済まさないで、ちゃんといじめに対して、その後、どういう対処をすればいいんだというアドバイスをして欲しいです。

【清原市長】 Jさん。

【Jさん】 さっき大人と会話するところをつくってほしいと言ったんですけど、そういう話したりする中で、何かおかしいこととかがあったら聞いてほしいです。

【清原市長】 Nさん。

【Nさん】 子どもがふだんと様子が違ったら、家の人は、暗いとか、きっと気づいてくれると思うんです。多分いじめられている子は、親に言ったことがばれちゃって、またいじめが激しくなってしまうとか、怖くなって話せないと思うので、学校の先生に相談

するとか、子どもの友達に、最近、何か変なことないとか聞いて、早目に対処してあげてほしいです。

【清原市長】 Dさんはさっき、いじめは早期発見することが大事だと言ってくれましたが、早く発見してもらうために、大人にどんなことに敏感であってほしいと思いますか。

【Dさん】 子どもを観察する、いっぱい見て、子どもから聞く。

【清原市長】 とにかく、まず子どもを観察してほしいというのは、さっきのNさんと同じね。様子の変化というのは必ず何らかのことであらわれる。Aさんも、虐待をやめてほしいと言ったけれども、いじめも虐待も大人が子どもの様子の変化とかというのを見つけることができるのかしら。

【Aさん】 いじめられている人は多分、なかなか言えないと思うので、発見したら、そういうことを子どもに聞いてから相談したほうがいい。

【清原市長】 親や先生に相談できないときって、みんなどうしています？Lさん。

【Lさん】 きょうだいに、いろいろ相談したりしています。あまり言えないことというのがありますので、スクールカウンセラーの先生にも相談します。

【清原市長】 なるほど。Gさんも、最初的时候に、いじめの問題をなくしてほしいと言ってくれたんですけど、どうしたらなくなる、あるいは防げると思っていますか。

【Gさん】 いじめられている人はだれかに相談して、それで先生たちがいじめている人をとめなきやいけない。

【清原市長】 なるほどね。Eさんも何か意見はありますか。

【Eさん】 私もスクールカウンセラーの人に相談したり、どうしてもちょっと言いにくかったときには、友達に聞いてみたりしています。

【清原市長】 Hさんはいじめについて何か意見ありますか。

【Hさん】 相談するというのはすごく難しいことだと思うので、スクールカウンセラーの先生に相談しづらいこともあるだろうし、だれにも言えないときもあると思うんです。だれにも言えないときは、友達に、例えばこういうことがあって、あなただったらどうするみたいな感じで、相談じゃなくて、さりげなく聞いてみたりすることがいいと思います。

【清原市長】 Iさんは、意見はありますか。

【Iさん】 多分いじめる側にも、いじめられる側にもいろいろな理由があると思うけど、いじめはよくないと思うし、そういうのは見かけたら、大人に助けを求めるとか、相談するのがいいのかなと思います。

【清原市長】 ありがとうございます。この辺で休憩を入れたいと思いますが、Eさんでしたか、これから地域や学校のキャンプがあったり、お祭りがあったり、おもちつきがあったりして、そういう学校の行事以外の地域の皆さんとの行事というのがとても大切なので続けてほしいと言ってくれましたね。地域のおもちつきとか、盆踊りとか、そうしたものに参加したことがある人はどのぐらいいますか。(児童多数が挙手) 今、手を挙げてくれた人は、学校の行事とは違って、例えばKさんはサッカーをやっているのかな。

【Kさん】 はい。

【清原市長】 サッカーのゲームとか、そういうのもあるでしょうし、それぞれ学校以外の行事だとか、地域とのかかわりの中で、学校のつき合いとは違う新たな出会いだとか、お話し合いのチャンスとかもあるのかもしれないね。三鷹はそういう取り組みが多いので、これはきっと続いていくのではないかなと。教育長は、学校が地域社会の中にあるということを大切にしようということで、コミュニティスクールということを提案して進めてくださっているんだけど、だから、今言ってくれたような取り組みについては、大人も心がけて続けていくのではないかなと思っています。

(休 憩)

【清原市長】 それでは、これから後半のテーマに移ります。前半は、大人に大切にしてほしいことでしたが、後半は、自分たちが成長していく上で自分たちが大切にしなければならないことについて伺っていきます。今度はAさん、お願いします。

【Aさん】 たまにお母さんが夜になると不機嫌そうになるんですが、それは考えてみると、大人としての時間がなく、子どもと一緒にいる時間が長いからだと思います。大人と会話する時間を増やすという意見もありましたが、大人だけの時間を増やすということも、子どもは考えなくてはならないと思います。

【清原市長】 なるほど。Bさんはどうでしょう。

【Bさん】 最近、生活の基本というのが大事にされていないんじゃないかなと思うので、そういうことから気をつけていかないとしっかりした大人になれない。

【清原市長】 例えば早寝早起きとか、食事をちゃんとするとか、そういうことですか。

【Bさん】 はい。

【清原市長】 では、Cさん、どうぞ。

【Cさん】 私は、塾で夕食を先に食べてしまったりするので、家族と話す時間がなかったり、あと、父は帰ってくるのが遅いので、あまり話せなかったりします。あと、子ど

ももポイ捨てや駐輪などをいい加減にしていることがあります。

【清原市長】 みずからもきちんとマナーを守っていくということですね。では、Dさん。

【Dさん】 いじめのことなんですけど、いじめる側、いじめられる側以外にも、助ける人が必要だと思っています。そして身近にいる大人や相談室の人や友達が、いじめられている人を助けてあげることが大切なんじゃないかと思いました。

【清原市長】 子どもとしても、いじめをなくすために活動すべきということですね。Eさん、どうぞ。

【Eさん】 クラスのみんなで話し合ったところ、地球温暖化についてと、自然を大切にすることや、いろいろな人と交流することです。地球を大切にすることは、今や南極の氷も溶けて、絶滅していく動物などが増えているというニュースを見ました。ごみは増やさない、リサイクルをする、マイバッグを持参する、自転車の利用をしていくことも大切だと思いました。それから、井の頭公園や玉川上水などの自然あふれるところを整えることは大切なことだと思いました。

いろいろな人との交流では、お年寄りに席を譲るなど、触れ合いも大切にすることや人を大切にすることは成長する上でとても大事だと思います。あと、ありがとうやごめんねなどの基本的な言葉を大切にすることも大事だと思いました。感謝の気持ちを忘れずに、友達や家族を大切に、自分でできることはできるだけ自分でしていくことも大事かなと思いました。あと、言葉を大切にするというような意見も出て、人と人とのつながりは言葉で成立していくので、うれしくなり、励まされた言葉などはすごく大切だと思いました。

それから、夢を持つことは将来の何かのきっかけになることがあるので、夢を持つことも大切なんじゃないかという意見がありました。

【清原市長】 では、Fさん。

【Fさん】 私のクラスでも、授業でどういう人になりたいかということを話し合ったときに、周りのことをよく見たりできる人になりたいというのがあったし、人の話をちゃんと聞ける人というのもあったり、自分たちがさらに下の子たちにもちゃんと手本を見せてあげなきゃいけないなと思いました。

【清原市長】 Gさん、どうぞ。

【Gさん】 友達を大切にするという意見や、自然を大切にするために、ごみ拾いなど

をしたりすることが大事とか、そういう意見が出ました。

【清原市長】 では、Hさん、どうぞ。

【Hさん】 □小では、無駄を出さない。安全に気をつける。自然を大切にする。いじめで嫌な思いをしている人がいないようにするということが出ました。無駄を出さないということは、水を出しっ放しにしない、給食は最後まで食べるということが出ました。

安全に気をつけるということでは、街灯を増やすだけでなく、自分たちで安全に気をつけるということが大切だということが出ました。また、自然をもっと増やす、育てる、大切にする、木を折ったりしないという意見が出ました。最後に、いじめで嫌な思いをしている友達がいないようにということが出ました。いじめられる側もいじめる側も何か理由がありますが、もしいじめられている子がいたら、友達が助けたほうが良いと思います。

【清原市長】 Iさん、どうぞ。

【Iさん】 自分たちが大切にしなければならないことについては、大きく分けて環境問題について、社会のルールなどについて、いじめについての3つに分けられました。

1つ目の環境問題については、自分のできることから始める。例えば食べ物を残さない、ごみを減らすために、スーパーのレジ袋をもらわないなどです。そして、清掃活動にできる限り参加していくことも大切なのではないかという意見も出ました。

2つ目の社会のルールなどについては、点字ブロックの上に自転車をとめないことや、ポイ捨てをしない、落書きをしない。そして、親や友達がもしルールを破っていても、まねをせずに、逆に注意してあげることが大切なのではないかという意見も出ました。

3つ目のいじめについては、クラスで30人31脚というものをやったり、みんなで協力し合えるようなことをたくさんやってきているので、いじめは起こりません。なので、もしいじめが多いクラスがあれば、みんなで協力し合って、話し合ったりすることが大切なのではないかと思いました。

【清原市長】 Jさん、どうぞ。

【Jさん】 自分たちが大切にしなければいけないことは4つありました。

1つは、自然を守ることです。大人も自然を守ることに協力をしなければいけないと思いますが、私たちもできることはあると思います。それはポイ捨てをしないとか、している人とかを見たら注意するとか、そういう意見が出ました。

2つ目に、子どもを守ることにについてです。私たちは今、子どもですが、大人になったときに、子どもを守ってあげられるようにして、今、不審者とか多いけど、自分たちはそ

ういう大人にならないように、正しいことをしなければいけないと思います。

次に、いじめについてです。今、気をつけなければいけないことは、見て見ぬふりをしないことです。見て見ぬふりをしているほうも一緒になっていじめているのと変わらないから、友達を助けてあげることが大事だと思います。最後に、標識に英語を入れると言ったんですけど、外国の人や施設との交流を大切にしなければいけないと思ったからです。

【清原市長】 では、Kさん、お願いします。

【Kさん】 僕は、さっきテーマ1で大人に対して言ったことを、自分たちもちゃんと守らないと、大人にも伝わらないと思います。あと、いじめ問題では、いじめを受けていた子に1回、相談を受けたことがあって、そのときに、僕はいじめられているって認識しているから、いじめだと思うから、いじめられていると思わなければ、いじめられていないよと言ったら、いじめられなくなったと言っていたので、その方法はいいと思います。

【清原市長】 それでは、Lさん。

【Lさん】 親も自分たちや、いじめられている子どものことにいち早く気づくようにしてほしいという意見があったけれども、結局は、自分たちが引き起こしたことだし、親や大人たちにばかり頼って、自分たちでは動かないのはいけないことだから、もっと気づいたら、周りのことを恐れずに、しっかりと、いじめをしている人たちに対して注意したほうがいいと思う。環境問題について、子どもでも朝から晩までずっとゲームをしている人たちが中にはいるから、もっと外で遊んだほうが体にもいいし、地球環境のことについても自分たちでできることを考えていけたらいいなと思います。

【清原市長】 Mさん、どうぞ。

【Mさん】 私は人の話をしっかり聞いて、心から友達に話すということと、人が困ることはしないということと、大人の一部の人のルールが悪さに気づいているのは私たちなのだから、そのルールは必ず守るとということと、友達や家族に思いやりをすることが大切だと思います。

【清原市長】 では、Nさん。

【Nさん】 友情を大切にして、さらに深めたり、1人で抱え込まずに、周りの人に言うこと、読書が必要という意見が出ました。友情を大切にして、ものすごく信じ合える友達がいれば、いじめられたときに、相談もよくできると思うんです。

それと、毎日、友達と遊ばないで、勉強ばかりしている子とかもいるので、友達と遊んで、友達をどんどん増やしていけばクラス内でいじめが起こったりするのではないと思うし、

大勢で仲よくしたりことを大切にすればいいと思いました。

【清原市長】 皆さん、自分たちが大切にしなければならないことについて、随分幅広くいろいろ具体的なお話をしてくれました。大人に大切にしてほしいことと重なることもありましたけれども、大きく5つに分けられると思います。

まず、大人に大切にしてほしいことと、子どもたちが大切にしなければならないことの1番目は、地球環境を大切にということと、そのために自分たちが何ができるかということについて、具体的に言ってもらいました。

それから、2つ目には、社会のルールは子どもも守るということで、みんながいろいろ言ってくれて、小さい子どものお手本に自分たちもなるのだからということをお話してくれました。3つ目には、基本的な生活習慣、それからあいさつというようなことを大切にと言ってくれました。4つ目に、ちょっとこれも重なりますが、いじめの問題については、子どもたち自身もきちんと対応していかなければいけないということ。そして、それについては、協力とか、友情とか、そういうことが大事ということをお話してくれました。5つ目には、友達との友情ももちろんありますけれども、大人も含めて人との交流について、特に大人を尊重しようとか、大人の仕事のことも理解しようとか、だから、自分でできることは自分でという観点から言ってもらいました。

特にこの中でさらに深めていかなければいけないこととして、まず地球環境を大切にしようということがあります。無駄をしないために、例えば給食を一生懸命最後まで食べましょうとか、水を大切にしましょうとか、省エネとか、ごみのリサイクルとか言ってくれましたけれども、ほかに地球を大切に、自分たちの環境を大切にするために、こういうことも大切ではないかと気がついたことがある人はいますか。Bさん、どうぞ。

【Bさん】 よくコンビニやスーパーで使うようなレジ袋は使わないで、自分のエコバッグみたいなものを持っていったりするののほうが大事なかもしれないけれども、レジ袋を持ってきちゃうときは同じように袋として再利用するのも大事だと思います。

【清原市長】 子どもたちでも工夫できることがありますね。では、Hさん、どうぞ。

【Hさん】 着れなくなった服とかは小さい子どもや弟、妹にあげたらいいと思う。

【清原市長】 再利用というのはとても重要なキーワードみたいですね。Jさん、どうぞ。

【Jさん】 さっきも出たんですけど、ごみのポイ捨てをやめないと、ごみが増えて、埋立地とかもう埋め立てられなくなったりしているので、ごみを減らすために、リサイクルができるものを使うことはいいと思います。

【清原市長】 Lさんも手が挙がりましたね。

【Lさん】 埋立地のような地域では地盤沈下があり、海も汚くなるし、自分たちにとっても周りのほかの動物にもよくない。だから、ごみはあまり出さないほうがいい。

【清原市長】 地球環境を守っていくためには、先ほどから皆さんが言ってくださったように、無駄をしない。エネルギーを使い過ぎない。ごみをリサイクル、再利用していくというようなことや、大きく自然を守ることにもつながっていくということのようですね。

そういうことをしていくためには、皆さんは皆さんより小さい子のお手本でもあるから、子どもとしても社会のルールを守っていこうという提案をしてくれました。Cさんは、子どもとして特に守っていくこと、小さな子どものお手本になりそうなことはどんなことでしょうか。

【Cさん】 公園でボールを投げちゃいけないとか、サッカーをやっちゃいけないと書いてあったら、きちんと守ることによって、お手本にもなると思います。

【清原市長】 皆さんは一生懸命自転車の交通ルールを守ってくれていると思うんです。だから、今まで大人で交通ルールを守らない人から怖い目に遭ったことがある人もいるかもしれませんが、ほかに、こういうことを子どもとして守ったら、大人のお手本にもなると思うようなことは、気づいていることはありますか。では、Fさん。

【Fさん】 歩行者優先の歩道とか、横断歩道とか、自分たちが自転車からおりて渡っていけば事故も起きないし、子どもが自分たちでお手本を見せることで、大人もやってくれるかもしれないと思います。

【清原市長】 では、Bさん。

【Bさん】 近所の人と会ったときに、自分からあいさつをするとよいと思います。あいさつをされたほうはすごく気持ちがよいと実感するし、その後、またあいさつをすることができるから、自分からあいさつするというのはとても大事なんじゃないかなと思います。

【清原市長】 Eさんもさっき言葉を大切にと伝えてくれました。どうぞ、Eさん。

【Eさん】 学校で自転車のルールについて、たまに学んだりするんですけど、そういう基本的なことをまちの中でも実践したりして、大人にできるだけ見てもらって、その人にもやってもらいたいです。

【清原市長】 では、Iさん、どうぞ。

【Iさん】 たとえば商店街とか、人通りが多いところでは、自転車に乗らないで、押

して歩いたりしたほうがいいと思います。

【清原市長】 今、あいさつを積極的にするとか、マナーを、特に交通ルールなどをきちんと守って、むしろ子どもたちがルールを守る、マナーを守ることで大人たちに見習ってもらえることもあるんじゃないかということがありました。

3番目に生活の基本、つまり基本的な生活習慣というのをきちんとすることが大切。早寝早起き、食事をきちんととる、あいさつをするとか、そうしたことが子どもたちが大切にしたいことの1つである点について、Kさんは何か心がけていることはありますか。

【Kさん】 僕は、レジ袋はスーパーには置かないで、レジ袋を忘れた人は100円とかの高い料金にして、マイバッグを絶対に持ってこようという自覚を持たせるために、スーパーとかからレジ袋を撤去したらいいと思います。

【清原市長】 さっきの地球を大切にしようというのと、社会のルールやマナーを守ろうというのと、自分たちの基本的な生活習慣をしっかりしようというのは、どうも関係が大分ありそうですね。Gさんは、子どもとして生活の基本を何か大切にしているものがあるとしたら、何を大切にしていますか。

【Gさん】 毎日、睡眠時間をちゃんととったりして、風邪にはならないように。

【清原市長】 なるほどね。Nさんはどうですか。生活のリズムをつくるために大切にしていることはありますか。

【Nさん】 早目に寝たり、パソコンやゲームをやり過ぎないで、お母さんなどに、そろそろやめなさいと言われてたら、はいと言って、すぐにやめたりしています。

【清原市長】 皆さんの周りには、テレビもあれば、パソコンもあれば、ゲームもあれば、いろいろ時間を使うものもあるし、野球をしたり、サッカーをしたり、塾に行ったり、おけいごとへ行ったり、1日24時間の使い方はたくさんあるんですね。それを自分としてしっかり考えながら、時間を使って行くという、そういうことが特にもう6年生になると求められてくるようです。

さて、皆さんが共通に言ってくれたことのうち、もう1つ大切なことに、いじめについては大人に早期発見や対応を求めるだけでなく、自分たちでそれを防いでいくとか、いじめの問題がある人の相談に乗っていきとか、そもそもいじめが起らないように協力をしていきとか、友情を大切にするような取り組みをしていきたいと言ってくれました。

Dさんは、いじめの問題を最初からとても大切に思ってくれたんだけど、それが起らないようにするために、Dさんが努力していることはどんなことですか。

【Dさん】 いじめがあったら、積極的にとめる。

【清原市長】 それ、しちゃだめだよと声をかけるのですね。Aさんはどうですか。

【Aさん】 僕は、1回、友達がいじめられているときに、巻き込まれるのが嫌だから、見て見ぬふりをしましたが、そういうことに気づいたから、いじめられているときは自分から、いじめている人に、それはよくないよと言ったりしています。

【清原市長】 それはよくないよと言うときには、とても勇気が要りますか。でも、言ってみてどうでした。

【Aさん】 言ってよかったと思っています。

【清原市長】 Gさんはいじめの問題が起こらないようにするために、何か努力をしていることがありますか。

【Gさん】 前に、みんなが1人に対していじめをしていて、だれもそれをとめる人がいなくて、先生が緊急保護者会を開いたりして、とめたんですけど、そういうことのないように、みんながちゃんと、それはだめだよという自覚を持つべきだと思います。

【清原市長】 Hさんも、先ほどいじめのことを自分たちが解決できなきゃいけないと言ってくれましたけど、どういうふうにすることがいいと思います？

【Hさん】 みんなのことをよく見たり、クラス全員のことをよく知っておいて、例えばいじめられている子がいたら、だめだよと、みんなで注意していけばいいと思う。

【清原市長】 みんなでそういうふうに雰囲気をつくっていくということですね。

Iさんもいじめのことを話し合っただけと言っていました。30人31脚をやっていたら、みんなクラスの気持ちが1つになっていじめというのは起こらない感じがするのは、一緒の目標に向かって努力をするというのがみんなの気持ちを1つにするのかしら。そのことによって、今、雰囲気はどんな感じですか。

【Iさん】 毎回、朝の練習があつて、練習をした後、必ずミーティングをやったりするので、そういうときにみんな生き生きとして発言したりとかしているんで、結構雰囲気はいいんじゃないかなと思います。

【清原市長】 でも、30人31脚といっても、得意な人もいるけど、なかなかリズムを合わせられない人もいますよね。それはどういうふうに、みんなで合わせられるようにしていくんですか。

【Iさん】 みんなでそういう子に教えてあげたりとか、サポートしてあげる。

【清原市長】 Nさんは、1人で抱え込まないでということをお話し合っただけでし

よう。1人で抱え込むって、6年生で何か問題を1人で抱え込むというと、例えばどんなことを抱え込むようなことがあるんでしょう。

【Nさん】 私のクラスで口がうまく回らなくて、そのしゃべり方を男の子にまねをされて嫌な気持ちになっている子がいて、それを私はかばってあげたりしているのですが、そういうことを言われることを抱え込んでしまうこともあると思うので、そういうのは仲のいい子にぜひ相談してほしい。

【清原市長】 皆さんが言ってくださったことで思ったんですけど、ほんとうに悩んで人それぞれ必ずあるじゃないですか。背がもう少し伸びたいとか、足が速くなりたいとか、もう少し人前で上手に話したいとか、それは外から見ていると全然わからない。大したことはない悩みのように思えるかもしれないけど、本人にとってはとても深刻で、眠れなくなるようなことがあるときってありますね。でも、そのときに、それを1人で抱え込まないで、ふっと話せたら気が楽になるとか、わかってくれる人がいたら、きっと楽ですよ。だから、そういう雰囲気をつくるっていいことなのをいろいろな形で今、話してくれたのかなと思うんですけど、ほかにいじめがあったら、それを救ったり、支えたりするのに、これは役に立つよというような方法とかありますか。では、Fさん。

【Fさん】 運動会の際に5段タワーというのをやって、最初はみんなばらばらだったんだけど、だんだん、ちゃんとやるようになって、それでみんなが1つになって本番のときに成功したら、いじめや、からかうのとかが減ったような気がします。

【清原市長】 Bさん。

【Bさん】 いじめている人は、いじめること自体を嫌いにならないといけません。何かいじめする人というのは何回か注意されただけではなかなかいじめをやめないような人がいるんです。だから、ほんとうにいじめをしていて、これはいじめをやらなければよかったと思うようなことをされないといじめは続いちゃうんじゃないかと思う。

【清原市長】 Aさん、何か気づいたことがある。

【Aさん】 みんなが心を1つにできることがあったら、クラスとか、学年がいじめをなくそうとすることができると思う。

【清原市長】 では、Jさん。

【Jさん】 私のクラスでも30人31脚をやっているんですけど、そのときに、先生に言われたことがあります。直接いじめには関係していないんですけど、転んじやったときとかに、必ず友達と話して、転んだ理由とか、合わないこととかを話して、ちゃんとそ

こは直しながらやっていけばいいと言われました。いけないところとか、そういうのがあったら、きちんと話し合っ直していくところは直していくことが大事です。

【清原市長】 Mさん、どうぞ。

【Mさん】 私のクラスでは、「〇〇さんのよいところキャンペーン」というのをやっていて、それによって最初、例えばだれかがいじめていたとしても、この人にはこんないいところがあるんだとか、あと、自分でそれを読んだりしたときに、私にはこんないいところがあるんだとかわかったりします。いじている側も自分のよいところがわかったら、これをもっとよくするために、いじめるのはよそうとか、そういうのを考えてくれたらいいなと思って、「〇〇さんのいいところキャンペーン」をやっています。

【清原市長】 それでは、最後のテーマ、皆さんは最初に、大人に大切にしてほしいことの中で、子どもの存在や子どもの意見を尊重してほしいと言ってくれたんですが、自分たちが大切にしたいことの中で、自分たちも大人を尊重して、大人が仕事をしていることを尊重していかなければいけないとも言ってくれたんですね。お年寄りを大切にしたり、だからこそ家の手伝いをしたり、自分たちができることは、大人を尊重したり、その口火を切ってくれたのはAさんで、大人には、大人だけの時間もつくってあげることが大事だと言ってくれましたけども、ほかの皆さんで、大人を尊重するとか、大人のこういうところは大切に子どもとしてもしてあげたほうがいいのか、何か思いついた人はいますか。では、Eさん、どうぞ。

【Eさん】 私の母は、学校のPTAだよりなどについていろいろパソコンで打ったりするのですが、ちょっと疲れが出たりしたときに、できるだけ自分のやりたいことをやって、リラックスしてほしいです。

【清原市長】 Jさん。

【Jさん】 小さい妹がいるので、お母さんが世話とかして、大変そうなときは気をつけてあげて、お手伝いをしようと思います。そういうのは面倒くさいとか、そういう人もいるけど、実はすごく大人にとってもうれしいことだと思うから、手伝いとかをやることが大事だと思います。

【清原市長】 Mさん。

【Mさん】 私はいろいろやりたいことをやって、その後、やらなきゃいけないことをやって、お母さんになるべくストレスをためないようにしています。

【清原市長】 Kさんはどうですか。大人を尊重して、自分でできることは自分でとい

うことで何か心がけていることはありますか。

【Kさん】 僕の親は夜遅くまで働いたりしているから、睡眠時間が足りなくて、土曜日とかの朝は、遅くまで寝ています。その間に、弟が最近、すごい早起きするようになったので、僕も早起きして弟の世話とか、御飯をつくってあげたりしています。

【清原市長】 そうですか。Cさんはどうですか。

【Cさん】 母は以前、働いていたときはすごくストレスがたまっていたみたいで、いつも家の家事をするときとても大変だったので、1人で何かやっているときは邪魔をしないようにしていました。

【清原市長】 皆さんのお話は、友達同士では友情、そして、家族、あるいは大人に対しては思いやりというか、相手の立場に立って、してほしいことをする、自分ができることをするというのをそれぞれ語ってくれたように思います。

そろそろまとめなければいけないんですが、Iさんが言ってくださったことで、なるほどなと思ったんです。なぜ英語のサインをと言ったかということ、外国の人と交流をするということが大事だから、外国に対しても子どもたちが開かれた気持ちを持つということ提案してくれましたし、皆さんの中には感謝をするという気持ちや、あるいは子ども自身が夢を持つということが大切だと言ってくれた人もいます。

また、さまざまな社会の問題を解決するときには、自分たち自身が子どもでもできることがある。それをしていこうということをお話してくれました。今日はたまたま5つの項目に分けて、自分たちが大切にしたいことを話し合っていましたけれども、それぞれに関係する皆様からの行動すべきことについての提案がありました。

それでは、きょうは放課後の大切な2時間を私たちのために割っていただきました。

「自分たちが成長していくうえで、大人に大切にしたいこと」と「自分たちが大切にしなければならないこと」について、クラスで話し合ったり、皆さんが一生懸命考えてくださって、大切な点がいっぱい出てきました。これを私たちは大いに生かしながら、「三鷹子ども憲章」というのをまとめていきます。皆さんも、クラスや学校で、きょう体験したことなどをお話して、伝えていってください。きっと今までとは違う、学校を越えた話し合いの機会でしたから、新たな皆さんの気づきと出会いがあったのではないかなと思います。一生懸命頑張って参加をしてくれて、ありがとうございました。これで終わります。(拍手)

【司会】 どうもありがとうございました。